

「新たな学び」と「交流／居場所」の機会について

学びの機会提供について

○学校法人による様々な「学び」の提供

学校法人が今まで培ってきたノウハウや経験を活かした「学び」を生野区の地域の皆さまへ提供出来る環境を整えます。

- ・自動車整備専門学校(専門技術の学び・資格支援等)
- ・通信制高等学校(分校)(学力向上(学び直し)・資格取得支援・心の成長を促す社会支援等)

外国籍住民比率が20%と全国でも上位に入るほどの多国籍化が進んでいる生野区の特長を踏まえた「学び」を新たに提供できる事業を始めます。

- ・日本語学校(語学力の学び・異文化交流・コミュニティの形成等)

その他に、今までに他地域で行っている「自立訓練事業」「就労移行支援事業」「放課後等デイサービス事業」とも連携を図り、より多様な「学び」の機会を提供できる体制をつくります。

○旧生野南小学校跡地を活用する意義

旧生野南小学校は、ふたつの小学校から派生するかたちで開講した小学校であり、多くの地域住民が通い、地域にとって愛着のある「学び」やコミュニティの場でありました。その跡地を今後も学校として利用し、地域の皆さまと共に様々な「学び」を提供できる地域に開放された拠点とすることが、新しく生野区で「学び」の事業を始めるには重要であると考えています。

○日本語学校を旧生野南小学校で運営する意義

外国籍の住民の皆さまが全体の約20%を占める生野区において、語学的なハンディがないことは進路の選択肢を持つために重要なことです。さらに、語学援助を行うだけでなく、卒業後の専門学校への進学支援、地域の「ものづくり」への新たな働き手としての斡旋など、地域に貢献出来る人材育成とその後の選択の幅を広げられるようにサポート出来る環境が整っていることが、この場所で運営していくことの意義であり、地域に貢献できる学びの一つとなります。

○地域団体や各種協力業者との連携による「学び」の提供

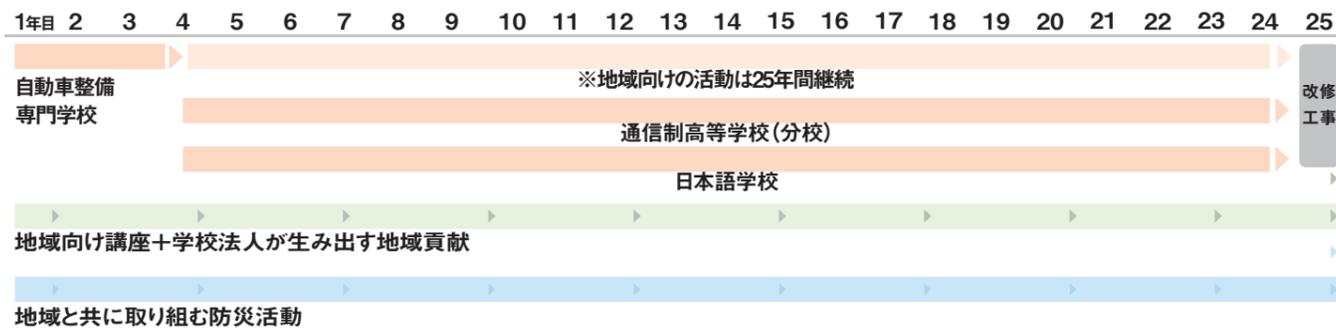
既存の教室群を全て利用するのではなく、地域に一部開放できるスペースやシェアオフィスを配置し、生野区で活動している各種団体や技術組織にオフィス利用やイベントの連携を図り、生涯学習・リカレント向きセミナーやIT関連教室など、様々な学びの場を多世代・多文化に向けて提供します。

[連携組織]

- ・生野南ふれあい協議会、プラス・アーツ、その他生野区小学校跡地利用者(いくつかのパークについては連携協議中)

学校法人が運営する多様な「学び」の教育事業

25年間の計画の中で多様な授業を展開できる「通信制高等学校」と多文化・多世代に向けた「日本語学校」という主要な2つの教育事業を行います。また、初めの3年間は「自動車整備専門学校」という専門的な学びの機会を提供できる事業を行うと共に、25年間を通じて、地域の皆さま向け講座や防災活動に取組み、周辺地域との関係性が継続的に続くよう努めます。



自動車整備専門学校の専門性のある学びの提供

○専門知識を身につけ、社会に直結する学び

最初の事業開始の3年間は、自動車整備専門学校としての利用を主要な事業とします。専門分野の資格取得に直結する授業を行い、普通教育ではなく専門分野を学べる学校とすることで、今まで生野地区になかった新たな「学び」の場を提供出来ます。



自動車整備専門学校「実習の時間」



自動車整備専門学校「実習の時間」

専門学校のオープンキャンパス等のイベントを実施する際は、周辺の小中学校と連携を図り、小中学生に専門分野のプチ職業体験を提供するなど、今までにない教育環境を育みます。



自動車整備専門学校「実習の時間」

多文化・多世代に向けた生野区特有の学びである日本語学校の運営

○生野区全体の「語学」学校の拠点

生野区の地域特性を踏まえ、日本語を学べる学校を運営します。開始2~3年は、60人程度の生徒数からスタートさせ、徐々に受け入れる人数を増やしていき、新しい「学び」の視点を持ち、他国籍の生徒が集まる生野区全体の「語学」学校の拠点となるように取り組みます。



外国人が集まる町、全国1位の生野区にスポット!!

多文化共生の生配信

無料講演 まちづくり!

多文化共生とは「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと」

韓国大阪青年会議所「11月度例会」より

学校に通う他国籍の学生だけでなく、地域開放スペースで行う各種イベントに参加する地域の皆さまとの交流を促し、それぞれが他言語でコミュニケーションが図れる場所としてワールドラウンジを開設します。地域の皆さまと学生の多文化交流を促すような取り組みや多言語でコミュニケーションを行う「多言語day」等のイベントも開催していきます。



多言語dayイメージ 香川大学の「グローバル・カフェ」より



日本語教育いどばたより



京都日本語学校より



ベトナム・ハイノイの日本語学校より

多様な学びを提供出来る通信制高等学校(分校)の運営

○地域の皆さまと関わることで得られる社会と直結した実践的な学び

全日制・定時制高等学校とは異なり、生徒一人ひとりの希望や必要に合わせた学びをカスタマイズすることが可能な生徒の自主性に基づいた選択ができる学校となっています。その教育課程の中で、地域の皆さまと連携を図り、多様な教育に対応できる学校として取り組みます。学力向上も大切ですが、心の成長が一番大切だと考え、心の成長を促しながら社会で生きていく力を育みます。自立する力・生きる知恵・考える力を育む学校を営みます。



自主的な「学び」授業のイメージ

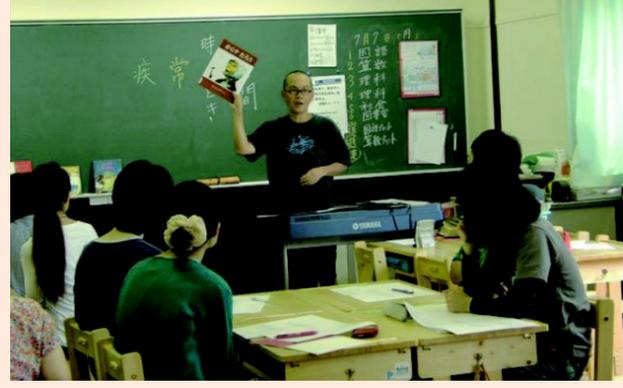


学びのイメージ 村山教育事務所の「高校生地域活動セミナー」より



「ワクワクハンドメイド」授業イメージ

教育課程において、地域の皆さまと関わる機会を設け、地域の皆さまからの学びを得られる学校とします。学生と共に地域課題の解決に取り組む時間を設けることで、小学校跡地という魅力ある環境での、生野区の住民性を活かした「学び」の場を提供します。また、月に一回程度の頻度で通信制高等学校の職に関する授業を受けれる日を設け、地域の皆さまの学び直しの機会を提供します。



通信高等学校「特別活動」



NPO法人繋がる協働ひろば 「中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育授業」



「Timeless」展の関連イベント「おとなの小学校」より



地域住民向け講座

○地域の皆さまを対象とした実践的なスキルを身につける講座を学校法人の持つノウハウと掛け合わせて開設

学校法人としてこれまで培ってきたノウハウを生かし、区民同士の教え合い学びあいをサポートする場として、地域の皆さま向け講座を開設します。周辺地域のNPO法人や協働体制のある団体から講師を派遣するが、単なる「教えられる」側だけの講座の開設ではなく、生野区ならではの「おせっかい」による、相互に「できること」を教えあうようなりカレント講座とします。

○ワールドラウンジを開設(多国籍・多文化・多言語を活かす講座)

60か国以上にルーツを持つ外国人が暮らす多国籍・多文化のまち生野ならではの場所です。

日本に来たばかりの多国籍の学生を講師とする多言語を併用してコミュニケーションを取ることを目的とした講座を開設します。生野区に根付くNPO法人や生野南ふれあい協議会の方のサポートを得て開講するこの講座は、コミュニケーションを取るだけでなく、日本語学校に通う生徒たちの学んでいることを実践する場でもあります。空き家カフェ等のイベントに参加しコミュニケーションをとったり、生野南ふれあい協議会が季節ごとに行うイベントに参加します。



香川大学の「グローバル・カフェ」



山梨県北杜市の「おいしい学校」

○シニア向けスマートフォン教室・初心者向けパソコン教室の開催(デジタルスキルのリカレント講座)

学校法人の情報学習のノウハウを生かし、生野区が掲げている「シニアスマートシティ・いくの」に則り、シニアのスマホ普及・活用率を向上させられるような講座及び、初心者向けのパソコン教室を生野南ふれあい協議会の皆さま、Code for OSAKAと連携し開催します。区民の方々に身近なデバイスを活用していただくことで、迅速な情報共有に繋がり、地域で活動する皆さまの主体的な情報発信が可能となります。

『テクノロジー×防災の事例 - 大阪市防災アプリ』



シニア世代のための
スマートフォン講座

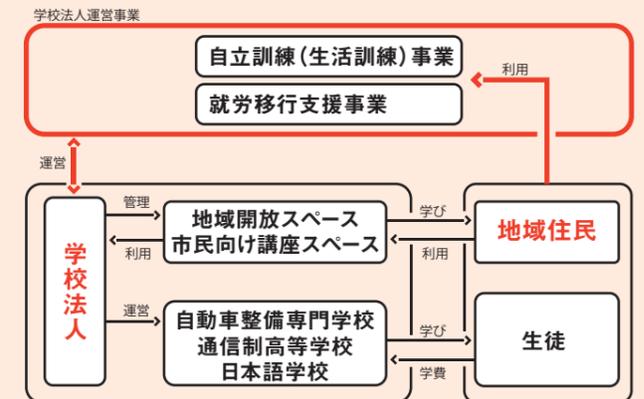
参加無料

@生野区 会場 はたけもり
HATA Lab×COME Lab

支援事業との連携

○誰も取り残さない学びの機会の提供

学校法人が運営している就労支援事業・自立訓練事業と連携し、そのノウハウや経験を学びに還元します。学校法人が運営しているハンディを持つ方や自立した生活を送るために訓練が必要な方への支援事業を本提案の事業と連携させることで、パブリックマインドの精神に則った、誰もが学びの機会を得られる仕組みづくりを徹底します。



「ソーシャルスキルの時間」イメージ



留学生が町工場に就職するイメージ

他の小学校跡地活用計画との連携

○連携例: 飲食人と連携し、食のシンポジウムを行う

「食と職による地域貢献」事業を行っている御幸森の「いくのパーク」に連携を依頼し、食を通じたシンポジウムを企画します。また、食について学べるだけでなく、地域の皆さまの交流にも繋がります。そして、各々の特色のある場所が連携をとって企画を行うことで、生野区の掲げる「みんなの学校」「まちぐるみ教育」に沿った場所が生野区全体に生まれます。(現在連携協議中)



飲食に関するワークショップのイメージ